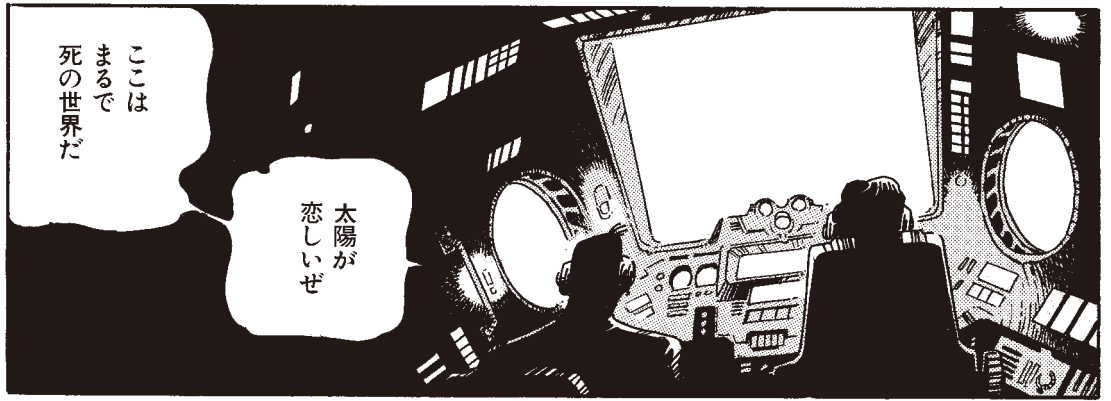


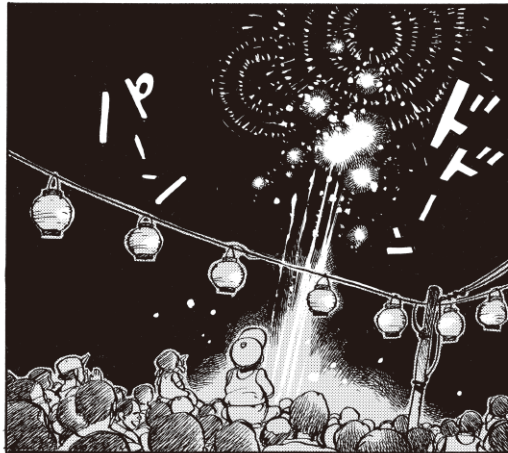
「金盞花」(1984年)



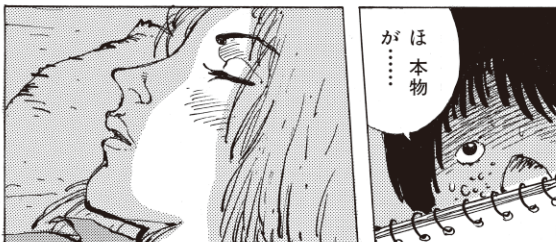
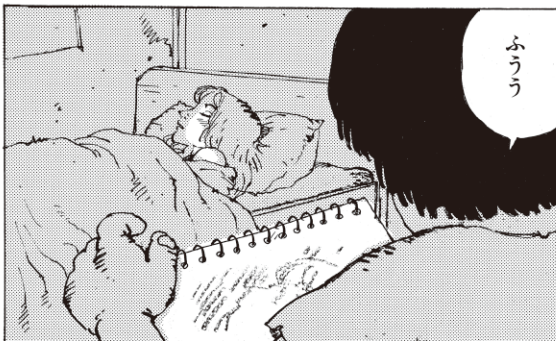
「遠いささやき」(1981年)



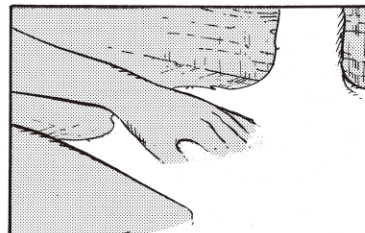
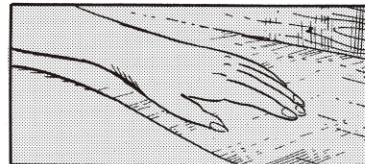
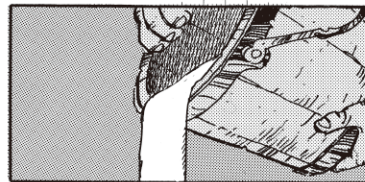
「花火」(1984年)



「カデンツ」(1994年)



「天の河」(1993年)



「小春日和」(1981年)



## 坂口尚 Hisashi Sakaguchi(1946—1995)

1946年5月5日生まれ。東京都荒川区出身。高校在学中の1963年に虫プロダクションへ入社。アニメーション作品『鉄腕アトム』『ジャングル大帝』『リボンの騎士』等で動画、原画、演出を担当。その後フリーとなり、1969年に漫画雑誌『COM』で漫画家としてデビュー(シリーズ作品の一編『おさらばしろ!』)。1970年代後半、漫画界で「ニューウェーブ」と呼ばれる潮流が湧き上がり、既存の枠を超えた自由で個性的な表現を開拓していこうとする雑誌が次々創刊される中、その中心となる作家陣の一人として活躍の場を広げ、様々なジャンル・作風の短編作品を数多く発表。一方で、アニメーションの制作にも断続的に携わり、24時間テレビのスペシャルアニメ『100万年地球の旅 バンダーブック』『フウマン』等で、作画監督、設定デザイン、演出などを担当した。1980年～1982年、代表作の一つとなる『12色物語』を執筆。1983～1995年にわたって、長編3部作となる『石の花』、『VERSION』、『あっかんべー休』を上梓。1995年12月22日、49歳の若さで逝去。

1996年、「第25回日本漫画家協会賞」で、『あっかんべー休』が『優秀賞』を受賞。2023年、フランス「第50回アングレーム国際漫画祭」で、『石の花』が『遺産賞 Prix du Patrimoine』を受賞。

©Hisashi Sakaguchi